



うちどく
「家のみんなで本をよむ」= 家読

たとえば…

- みんなで同じ本を読んで、感想を話してみる
- それぞれが最近読んだ本の紹介をする
- 絵本の読み聞かせや本の朗読をする

やり方はいろいろです

この本おもしろい！という気持ちを家族でシェアしませんか
本をきっかけに おしゃべりしましょう♪

～ ありがとうの本～

ふだんにげなく口にする「ありがとう」、心をこめて伝える「ありがとう」など、いろいろな「ありがとう」の本を集めました。家族や友だち、身の回りの人たちに、「ありがとう」の本で感謝の気持ちを伝えてみませんか。



『きみにありがとうの
おくりもの』

宮野 聡子 // 作・絵
教育画劇

森はずれのほら穴に住んでいる、元気なこりすとのんびりやのくまくん。二人はおたがいが大好きで、相手の思いやりをとてもうれしく思っていました。自然とこぼれる「ありがとう」の気持ちがたくさんつめこまれた一冊です。



『ありがとうって
いいもんだ』

森山 京 // 作
ささめや ゆき // 絵
文溪堂

転がってきたボールをひろったブタのこ。キツネのおにいちゃんからの「ありがとうね」がかっこよくて、自分もだれかに言ってみたくなりました。けれども、なかなか思うようにはいかず…感謝を伝えること、伝えられることのうれしさが描かれています。

★『ありがとう』

谷川 俊太郎 // 詩 えがしら みちこ // 絵 講談社

卒業式の日。校門の前で見上げた空。わたり廊下からながめた花。体育館に入場した自分を見守る家族。今日まで自分のまわりにあったすべて、そして自分へ、大きな感謝を伝える絵本です。

★『ありがとう ともだち』

内田 麟太郎 // 作 降矢 なな // 絵 偕成社

釣った魚の大きさを、キツネに大げさにじまんしてしまったオオカミ。次の日、二人は海に行きますが、オオカミはぜんぜん魚が釣れなくて…友だちを元気づける「ありがとう」があたたかいお話です。

★『とりあえずありがとう』

五味 太郎 // 作 絵本館

にぎやかすぎる子守唄。大きさが川幅くらいある、橋代わりのワニ。手がこんでいるけれど好みではない髪型。苦笑いしてしまうものから、心から感謝するものまで、さまざまな「ありがとう」を描いています。

